



尻尾をガブリ！枕崎をまるごと味わい卒業 ～枕崎小学校PTA主催 教職員送別会

■枕崎小学校PTA(市田芳一会長)主催の教職員送別会が3月28日、市内のホテルで行われ、同小学校の保護者ら140人が、今回の異動で枕崎小学校を出る先生7人を送別しました。

異動する先生の前にかつおの尻尾料理が出されると、指南役の中村公治さんが食べ方を指導、全員手づかみで思い切りよくガブリとかぶりつき、枕崎での思い出とともに味わっているようでした。

6年在职した林智美先生は「頭のてっぺんから尻尾の先まで枕崎を味わえました。色んな経験をさせてもらいました」と話していました。

同PTAでは、4月に赴任された先生を、今度はかつおのピンタ料理で歓迎する予定です。



投稿 岩崎子ども会がふれあいそば作り会 ～投稿者 岩崎公民館長 山下勝也さん

■岩崎公民館の小・中学校の子ども会と千歳会(四元勇会長)との恒例のそば作り会が2月19日、岩崎公民館で行われました。

子どもたちは、千歳会のおじいさん、おばあさんたちにそばのこね方や切り方などそば作りの基本を教えてもらいながら、楽しく作っていました。食事会では、できあがったそばをみんなでほおばり、会話も弾みました。

高齢者の方たちも、子どもたちとのふれあいを楽しんでいたようでした。

卒業生が自分たちで大会運営 最高の思い出づくり ～さくさくカップ2011ドッジボール大会

■さくさくカップ2011ドッジボール大会が3月12日、総合体育館で開催され、遠くは鹿屋市や薩摩川内市など県内から16チームの参加がありました。

同大会は、桜山小学校の6年生が自分たちの力で卒業記念ドッジボール大会を開催しているもので、今回で3回目となります。今年は、通年で空き回収をしたほか、桜山地区の家庭から不要になった鉄やアルミニウムなどを回収して回り、そのリサイクル料を開催費に充てました。

実行委員の瀬戸口朱里さんは「こんなに多くのチームが参加してくれたことに驚きました。卒業生34人のチームワークが深まったことがうれしかった」と話してくれました。

卒業した児童らにとって、自分たちの力で開催した思い出の大会になったことでしょう。



駅前観光案内所にAED設置

～市役所関係職員組合が観光協会にAEDを寄贈

■枕崎市役所関係職員組合が結成60周年を記念して枕崎市観光協会(塙野郎会長・写真左)に自動体外式除細動器(AED)2台を寄贈。その贈呈式が2月28日、駅前観光案内所で行われました。

1台は駅前観光案内所内に設置、もう1台は持ち運びできるタイプで、祭りなどのイベントで活用される予定です。



子どもたちが防火を絵で呼びかける ～幼年消防クラブポスター展

■春の火災予防運動期間に合わせ防火への意識を高めてもらうため、南薩地区消防組合主催の幼年消防クラブポスター展が開催されました。

管内の各幼年消防クラブから280点の出品がある中、ふじ幼年消防隊の寺田彩乃さん(写真左・6歳)が金賞を受賞、また、石原ゆいなさん(写真右・6歳)が入選しました。

寺田さんの絵は、消防車が消火活動をしている様子を描いたもので「火事が起きないでほしいという気持ちで描いた」と話してくれました。

期間中(3月1日～7日)、優秀作品が本市や南さつま市の合わせて7会場に展示され、子どもたちの明るく、いきいきとした表現のポスターが火災予防に貢献しました。



枕崎で流した汗を笑顔に変えて

～福岡工業大学硬式野球部が枕崎でキャンプ

■福岡工業大学硬式野球部によるキャンプが、2月26日から6日間の日程で、市営球場で行われました。

すっかり恒例となったキャンプも今回で15回目。激励を込めて、市と市議会から黒豚しゃぶしゃぶセット、市漁協から枕崎ふえん鯉、福岡工業大学硬式野球部枕崎後援会からタンカンがそれぞれ贈られました。

枕崎で流した汗をカに、全国大会出場目指してがんばってください。



土砂災害防止を願う絵画で県知事賞 ～土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール

■県と国土交通省が主催する平成22年度土砂災害防止に関する絵画・作文コンクールで、上久保雄大くん(枕崎中3年)の絵画が県知事賞(優秀賞)を受賞しました。このコンクールは、毎年6月に『土砂災害防止月間』と定め、その一環として小・中学生を対象に行われているものです。



表彰伝達式が3月11日、枕崎中学校で行われ、県南薩地域振興局の高橋史雄建設部長(写真左)から上久保くんに賞状と記念品が手渡されました。上久保くんは「土砂災害がなくなり、平和に暮らせる世の中になってほしいという気持ちで描いた」と話してくれました。



おもてなしの心とやさしい笑顔で好印象を ～枕崎市観光協会接遇研修会

■市観光協会主催による接遇研修会が3月4日、地場産業振興センターで開催され、お魚センター、薩摩酒造、金融協会などから26人が参加しました。

講師にマナーアドバイザーの丸井ゆかりさんを迎えて、九州新幹線全線開業に向けた個々の心構え、接客態度の重要性、あいさつの基本、言葉づかいなどを実践を踏まえながら学びました。

今後増えると思われる観光客に対するおもてなしの心を育む研修会となりました。